

ウォールバリアNBシステム

NBシステム専用下塗材

シーリング汚染の抑制、低温時の伸びに優れた、ヘアークラック充填効果のある次世代型微弾性サーフェーサーです。

《シーリング汚染抑制形水性1液反応硬化型エポキシ変性改修用微弾性サーフェーサー》

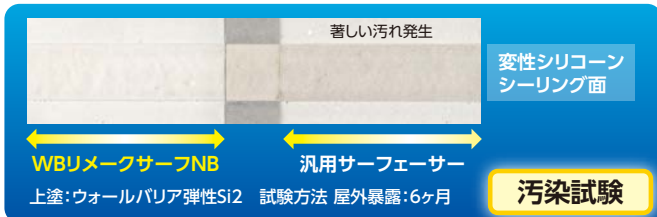
WBリメイクサーフNB

特 長

◆優れたシーリング材適性

●シーリング汚染の抑制

WBリメイクサーフNBには、シーリング中の可塑性移行を抑制するハイブリッドエマルジョンを使用しており、目地部のシーリング汚染を抑制します。



●シーリング材への付着性

WBリメイクサーフNBは、密着性に優れたエポキシ成分と柔軟性に優れたウレタン成分を配合しているため、1成分形・2成分形ポリウレタン系シーリング材、1成分形・2成分形シリコン変性シーリング材など、窯業系サイディングボードに使用されるシーリング材との付着性にとても優れています。

◆ヘアークラック充填性

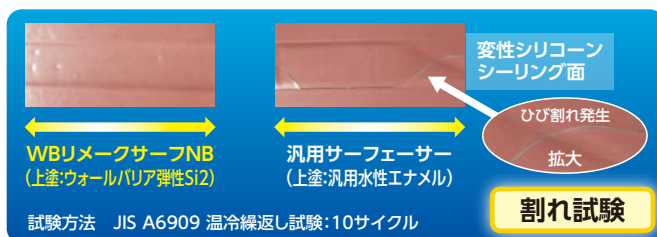
WBリメイクサーフNBは、ヘアークラック充填機能をもったサーフェーサー形の下塗材です。また、ローラーマークが出にくく、滑らかで緻密な塗膜を形成しますので、上塗りの仕上がりに優れ、窯業系サイディングボードの既存テクスチャーを活かす塗装仕様に最適です。

●シーリング材への追従性

窯業系サイディングボードは低温時に最も収縮するため、板間シーリング材の変位幅は夏季 最大約3%、冬季 最大約8%といわれています。（2016年 日本建築学会学術講演より）

低温により塗膜の柔軟性が低下することと相まって、冬季はシーリング材上の塗膜が最もひび割れやすい季節です。

「ウォールバリアNBシステム」は低温時（-5℃）にも8%以上の伸び率を維持する下塗材「WBリメイクサーフNB」と専用設計の上塗材「ウォールバリア弾性シリーズ」「ワイドエポーレウォールシリーズ」を組み合わせた、シーリング材への追従性に優れた窯業系サイディングに最適な改修システムです。



◆豊富な標準色設定

WBリメイクサーフNBは、幅広い上塗り色に対応するホワイトから濃色までの標準色8色を設定しております。

NBシステム適合上塗材

WBリメイクサーフNBに最適な伸縮性に優れたラジカルプロテクト・ハイブリッドタイプの豊富な上塗材をラインアップしています。

水 系（2液）

水性2液反応硬化型弾性無機系ハイブリッド塗料

ウォールバリア弾性無機2（JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品）

水性2液反応硬化型弾性ふっ素系ハイブリッド塗料

ウォールバリア弾性F2（JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品）

水性2液反応硬化型弾性シリコン樹脂ハイブリッド塗料

ウォールバリア弾性Si2（JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品）

水性2液反応硬化型弾性強力防かび・防藻シリコン樹脂ハイブリッド塗料

ウォールバリア弾性BIO-2（JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品）

弱溶剤系（2液）

弱溶剤2液反応硬化型ふっ素樹脂ハイブリッド塗料

ワイドエポーレウォールF（JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品）

弱溶剤2液反応硬化型エポキシ・シリコン変性樹脂ハイブリッド塗料

ワイドエポーレウォールSi（JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品）

弱溶剤2液反応硬化型エポキシ変性ウレタン樹脂ハイブリッド塗料

ワイドエポーレウォールU（JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形2種相当品）

弱溶剤2液反応硬化型強力防かび・防藻エポキシ・シリコン変性樹脂ハイブリッド塗料

ワイドエポーレウォールBIO（JIS A6909建築用仕上塗材 耐候形1種相当品）

用 途

●建築物の内外部（改修・新築）

適用下地

●窯業系サイディングボード など
※ALCの塗替にも使用可能です。

適用シーリング材

●ポリウレタン系シーリング材（1,2成分形）
●変性シリコン系シーリング材（1,2成分形）

適用既存塗膜

●アクリルリシン ●吹付タイル
●弾性タイル ●単層弾性
●アクリルスタッコ ●EPの活膜

（注1）ふっ素系塗装サイディング、無機塗装サイディングの場合、予め試験塗装を行い密着性を確認してから本塗装を行ってください。

（注2）光触媒サイディングの場合は塗装を避けてください。

（注3）既存塗膜が2液強溶剤系ふっ素樹脂塗料、2液強溶剤系シリコン樹脂塗料、弾性スタッコの場合は塗装できません。

荷 姿

商 品 名		系統	容 量	耐凍融試験	仕上がり	色 相
下塗	WBリメイクサーフNB		15kg	F☆☆☆☆	—	標準色
上塗	ウォールバリア弾性無機2	水系	15kgセット (主剤14kg:硬化剤1kg)	F☆☆☆☆	つや有り 7分つや 5分つや 3分つや	白・黒・赤 赤さび色 オーカー色 黄色・紺 調色品(淡彩色・ 中彩色・濃彩色)
	ウォールバリア弾性F2					
	ウォールバリア弾性Si2		3kgセット (主剤2.8kg:硬化剤0.2kg)			
	ウォールバリア弾性BIO-2					
	ワイドエポーレウォールF	弱溶剤系	14kgセット (主剤13kg:硬化剤1kg)	F☆☆☆☆		
	ワイドエポーレウォールSi					
	ワイドエポーレウォールU		2.8kgセット (主剤2.6kg:硬化剤0.2kg)			
ワイドエポーレウォールBIO						

《 注 意 事 項 》

ウォールバリアNBシステムのブリード抑制、ひび割れ低減機能について十分な性能が得られるよう、塗装時には下記の事項にご注意ください。

※シリコン系、ポリサルファイド系などのシーリング材には塗装できません。

※WBリメイクサーフNBの膜厚が不足すると、ブリード抑制、ひび割れ低減に必要な効果が得られませんので、所定の塗付量を厳守してください。

※シーリング材の施工にあたりましては、シーリング材メーカー指定の養生期間等の施工方法を遵守してください。また、低温時の塗装、2液形シーリング材の攪拌不足、増打ちなどの薄膜シーリング部の硬化不良、表層のみ硬化し内部が硬化していない場合など、シーリング材の硬化不良・肉やせによりブリードやひび割れなどの不具合を生じますので硬化状況を十分確認の上、塗装してください。

※災害、交通量の多い道路脇などで建物の振動が頻繁な場合、目地幅が広い場合など、シーリング材の動きが著しく大きく、WBリメイクサーフNBの伸縮性を上回る条件の場合、フレを生じることがあります。予防策として上塗りと同系色のシーリング材を施工して頂くことにより、万が一、塗膜のひび割れを生じた場合にもひび割れ箇所を目立たなくすることができます。



スズカファイン株式会社

標準色

NBホワイト(淡彩)	NBライトグレー(淡彩) 日塗工:N-77近似色	NBグレー(淡彩) 日塗工:N-65近似色	NBダークグレー(濃彩) 日塗工:N-30近似色
NBベージュ(淡彩) 日塗工:19-80D近似色	NBフレッシュベージュ(中彩) 日塗工:19-70F近似色	NBマウンテングレー(淡彩) 日塗工:25-65B近似色	NBジャワブラウン(濃彩) 日塗工:15-30F類似色

注)印刷色見本ですので、現物とは若干の色差があります。

標準仕様

工程	塗料	調合(重量比)	標準耐摩(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
① 素地調整	新設時	●素地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●ごみ、汚れなどを除去し、不陸・巣穴・段差・ひび割れなどは、条件に適した材料・工法で下地処理を行う。				
	塗替時	●既存塗膜の浮き・膨れ・脆弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ●汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧15MPa以上)で除去する。 ●水洗い面を十分に乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。				
② 下塗り	WBリメークサーフNB 清水	100 1~3	0.3~0.5	1	3時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り

※シーリング部にWBリメークサーフNBを増塗することにより、ブリード抑制効果が更に向上いたします。

●水系仕様

③ 上塗り	ウォールバリア弾性シリーズ 清水	100 5~15	0.12~0.20	2	3時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
-------	---------------------	-------------	-----------	---	------------------------	--------------------------

使用可能上塗:(水系)ウォールバリア弾性無機2、ウォールバリア弾性F2、ウォールバリア弾性Si2、ウォールバリア弾性BIO-2

●弱溶剤系仕様

③ 上塗り	ワイドエポレーウォールシリーズ 塗料用シンナー	100 0~20	0.1~0.16	2	5時間以上7日以内 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り・ウールローラー塗り エアレス塗り
-------	----------------------------	-------------	----------	---	----------------------------	--------------------------

使用可能上塗:(弱溶剤系)ワイドエポレーウォールF、ワイドエポレーウォールSi、ワイドエポレーウォールU、ワイドエポレーウォールBIO

塗装上の注意事項

- 素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 窯業系サイディングボードのひび割れ、欠損などは、パネル製造メーカーが推奨する補修材、工法で補修してください。
- コンクリート及びモルタル下地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンカチオンSCフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- 素地調整後の表面強度は0.5N/mm以上が必要です。撥水材塗装面・脆弱下地などの場合は、最寄りの事業所にお問い合わせください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、施工を避けてください。
- 強風時の降雨・降雪のおそれのある場合は施工を避けてください。
- エアレス塗装の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから施工してください。
- うすめすぎは、性能低下、たるみ、隠れ不足、つや不良などを生じますので注意してください。
- たれ、塗り残しなどが無いよう均一に塗装してください。

- つや調整品は、被塗物の形状、膜厚、色相、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合がありますので、ご了承ください。塗装前に必ず試し塗りをを行い、つや等の仕上がりを確認した上で、本塗装を行ってください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。下地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- 養生テープは、塗膜が未乾燥のうちに取り外してください。また、乾燥した場合は、カッターで切り込みを入れて取り除いてください。
- 外部の塗装で、上塗りの色相に赤、黄色系を用いる場合は、他の色に比べ保色性が劣りますので留意ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車輛などに飛散しないよう留意し、十分な養生を行ってください。
- シャッター・歩行部位への使用は避けてください。
- 塗装面とプラスチックなど可塑性を含むものが接触する箇所には塗装しないでください。
- 補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。

取扱い上の注意事項

- 換気の良い場所で使用してください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
《防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど》
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けんで洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
 - 取扱い後は、手洗い、うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
 - 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所での保管は避けてください。
《雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など》
 - 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。
- 注) 各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。特に引火及び有害の危険性がある製品は、十分注意し、安全対策を行ってください。また、製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX 059-397-6191
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1166 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071



URL <https://www.suzukafine.co.jp/>

●このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●このカタログに記載以外の素地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起すことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

20/01